

明智地域自治区運営協議会だより

令和5年度第2回明智地域自治区運営協議会が12月21日（木）に明智振興事務所にて開催されました。内容は下記のとおりです。（出席委員数：運営協議会委員21名中18名、オブザーバー2名 傍聴者：1名）

1. あいさつ

【杉山会長】

1年間それぞれの立場でまちづくりにご協力いただき感謝申し上げます。すべて上手くいったわけではないが、先般、多くの委員にご協力いただいた秋の大イベントWRCについて、昨年以上の入込客と経済効果があったとの報告を受けた。苦労した甲斐があり、大変嬉しいことである。引き続きそれぞれの立場でこうしたイベントにはご協力願いたい。また、各部会についても様々な活動をしていただき感謝申し上げます。部会が中心となり活動を続けることで町全体の活力が生まれてくるため、引き続きよろしく願いたい。

2. 協議事項

(1) 令和6年度まちづくり活動補助金・活動交付金事業の承認について

- ①恵那市地域のまちづくり活動補助金交付要綱 資料1
- ②令和6年度地域のまちづくり活動補助金・交付金事業計画案 資料2
 - ・単独事業 上限5事業（申請4事業）・・・優先順位付けを行う
 - ・連携事業 明智町中心1事業（他の地区中心2事業）

【事務局】

- ・町内各団体から申請のあった、まちづくり活動補助金（単独実施分）4事業について申請内容を説明。明智町としての優先順位を付ける必要があるため、配布してある採点表に記入していただき、集計後に発表を行うこととした。
- ・明智町が主体となり、他の地域自治区と連携して実施する、まちづくり活動補助金（地域間連携分）1事業の申請について説明。事業名は、恵南地区「ロゲイニングでまちづくり」事業およびスポーツイベント事業。
- ・明智地域自治区への活動交付金について、事務費等の内訳を説明。特記事項として、活動交付金とは別に次年度に向け、宝くじの収益金を活用したコミュニティ助成事業を申請している旨を報告。採択された場合は、地域自治区が行うイベント等の活動をより活性化させるため、老朽化により故障した、テント、イス、机などの整備を行う。

【意見等】

- ・特になし。事業内容について承認。

(2) あけちだよりに係る広告収入への取り組みについて 資料3

【事務局】

- ・明智地域自治区運営協議会の自主財源の確保などを図ることを目的として、明智町の広報誌「あけちだより」に有料広告枠を最終ページに設けることを提案。募集枠は8枠、年間掲載料金1万円、募集期間は2月13日（火）～から29日（木）までであり、先着順とする。事務局案についてご協議願いたい。

【意見等】

- ・募集の周知はどういう形で行うのか。
→2月号の「あけちだより」にて周知する。
- ・掲載するイメージはどんな形か。
→先進的に取り組んでいる、岩村町と上矢作町の広報誌をイメージとして提示した。
- ・事務局案について承認。

3. 報告事項

各部会からの報告事項

(1) 安心部会（開催日6/20 交通シンポジウム12/10）

- ・12/10 公共交通シンポジウムにて、4月から開始したデマンド交通等について松原部会長がプレゼン。

・情報共有として福祉委員の制度について委員の意識が高くなってきた。毎年、自治会での要支援者情報について、確実に次の福祉委員へ引き継ぐためにファイルを作成し、このファイルをそのまま引き継ぐ形を取っている。

(2) 郷土部会（開催日 6/26、8/2、8/30、9/27、11/20）

・10/28、29 明智町文化祭及び 11/25 明智小学校学習発表会に歴史資料（部会が作成した写真）展示。
・明智には文化財等の貴重な資源が多くある。郷土部会とは別の活動として、恵南 5 町で構成している恵南地区文化遺産活用実行委員会において、文化庁の補助金を活用し、貴重な資源等を活用した取り組みを行っている。事業展開においては皆様の協力をよろしくお願ひしたい。

(3) 賑わい・若者部会（開催日 6/23、7/28）

・部会自体の開催を試行的に 2 部会合同で開催してきた。協力できる部分も多く良かったのではないかと。
・11/19 世界ラリー・かえでまつりにおいて、賑わいを出す工夫や経済効果としてお金が落ちる取り組みを模索しながら実施した。今回の経験を活かし次につなげていきたい。
・12/9 まいまいくらぶが主体となり、初開催となるイルミネーションイベントを開催。このイベントに賑わい部会、若者部会も協力した。想定以上の親子の参加があり盛会であった。次年度も継続し、町の賑わいと若い方のまちづくりへの参加を創出していきたい。

4. 各種団体・委員さんからのご意見・情報交換

・恵南地区文化遺産活用実行委員会を恵南 5 か町村で行っている。今年度は山岡の花火を子ども達と共に勉強し、串原のへぼ文化を子ども達と合わせて学習した。山岡で 110 cm の巨大な五平餅を体験する事業も行った。来年度は五ヶ年計画を立てて山城や伝統文化、雅楽や歌舞伎などをやっていきたい。5 年後には、太鼓を色々な人にたたいてもらい、世界の平和に繋げるような取り組みを行っていきたい。リニア開業を視野に入れやっていきたい。

・商工会明智地域委員会からです。ラリーとかえでまつりに関して、その時だけ人が集まるイベントではなく、その後も経済効果が続く取り組みを考えてきた。駐車場で車中泊してもらい収入を得る仕組みの他、業者に声をかけてラリー関連グッズを開発し販売した。明智製陶さんのマグカップ、ロマン亭さんの定規などがある。イベントを盛り上げるのはもちろん、地域に関わる人が増えて地域でお金が回る仕組みを今後も考えていきたい。

・まいまいくらぶ、賑わい部会、若者部会、商工会青年部で実行委員会を設置し、イルミネーションイベント・クリスマスパーティーを開催した。皆さんの協力もあり想像以上の賑わいで大成功だったと思う。少子化になってくる中で子ども達が楽しめる環境作り、場所やイベントを考えながら来年度も取り組みを続けていきたい。

・先月大学院生の団体が岩村醸造で研修を受けた。その後、岩村のまちなかを歩き、空き家の見学をさせてもらいながら、おばあさんの話を聞いたり、藍染の壺を見たりした。大学生達は、普通の日常生活の風景にとっても興味を持っていた。昔ながらの古い五平餅屋さんの五平餅を食べ「おいしい」と話していた。ちゃんと作られたミュージアムより、昔ながらの日本を感じられる場所の方がいいんだなと感じた。明智町も空き家対策でこんな事を感じてもらえる案内ができないかなと思った。川遊びの広場を見にいったが、駐車場やトイレ、手洗い場があるともっといい場所になるなと感じた。なんでもない所に観光のたねがあるなと思った。

・松本へ電車で行った際、外国の方がたくさんみえた。インバウンドがすぐそこまで来ているなど実感した。明智も戦国時代の文化や大正時代の文化などがあるのでそれを活用し良い町づくりができればいいなと思った。

・吉田地域活性化委員会で 4 年ぶりに吉田ワクワクフェスティバルを開催し大変な賑わいだった。壮健クラブの方や、吉田小跡の施設の方が出店してくれた。また、地震体験車の体験、すわがね整備事業の方で、材木を切る競技などを行った。映像屋さんを呼んで歌をうたい、演奏してもらった。来年も開催するためぜひ参加していただきたい。

・消防団です。色々なイベントがあったが、大きな事故などなく行うことができて良かった。12/28～30 年末特別夜警を行い、1 月 6 日には出初式がある。入団者が少ないので、地域の皆様へ声掛けをお願いしたい。

・明智中学校では生徒がボランティア活動で地域貢献活動を行っている。花植えのボランティアに参加した生徒は、一般参加者の方に植え方を教わりながら作業を進め、慣れないながらも頼りにしてもらえ褒めてもらったのが嬉しかったと話していた。その後も、花壇の花が元気に花を咲かせているかな、観光客を楽しませているかなと気になるようになったという感想もあった。ボランティアに参加する事で明智の町に興味関心を持ち、以前より思い入れが上がっていると思う。そういう経験をした子が、参加したことのない生徒に経験を話す事で一歩前へ出るのに勇気がある子ども達の励みになり、参加する子が増えている。

ボランティア募集についてどういう風に募集したらいいかわからない方は相談にのるため、気軽に連絡をいただきたい。

- みらい会議です。12月2日に移住者を少しでも増やしたいという思いで、明智を案内するイベント「明智発見の旅」を開催した。恵那駅より明知鉄道内を装飾した車両に乗っていただき、アオゾラさんのフランス料理を食べながら明智まで乗っていただいた。その際に、野志駅で光秀歓迎隊の皆さんが旗を振り歓迎してくれたり、明智駅では杉山さんや明智の方が出迎えてくれた。その後、明智小学校、リンゴパークを案内した。今回みらい会議のメンバーだけでなく、光秀歓迎隊の皆さんや、小学校の校長先生、リンゴパークのスタッフが協力してくれた。最後にアンケートを取り、結果、満足度100%だった。移住者を呼びこむのは難しいと実感しているが、今回のイベントを通して明智のファンを増やす事、明智に住みたい、また明智に来たいと思ってもらえるような発信をしていくこと、今あるものの価値を実感したからこそ、それを活用してやっていきたい。12月3日には空き家ツアーを開催した。空き家の発掘を何年もかけて行っている。空き家バンクに登録できる物件も増えてきている。今後は色々な空き家を発掘していく事が課題だと感じている。ただ、私たちが目指す若者に住んでもらいたいという思いを叶えるには、今の空き家は古すぎて改修にお金がかかり、子育て世代には購入が難しいのが現状である。また、若者部会にも関わっているので、何か一つでも若者部会として何かできたらいいと思う。
- 恵那南校PTAです。賑わい部会でイルミネーションイベントに参加させていただいた。第一回目でしたが、非常に盛り上がり良かった。今回の反省をふまえて来年度も頑張ってやっていきたい。
- 明智小学校PTAです。小学校にラリーカーが来て子ども達が楽しめる機会があって良かった。12月11日、14日に中学校統合に関する説明会があった。ワークショップ形式で意見交換を行い、お互いに良い気づきがあった。
- 中学校PTAです。6月11日に行った資源回収に協力いただき感謝申し上げます。生徒も保護者の人数も少なくなっている。現在地域の方にも協力いただいているが、それでも少ないのでこれからも協力していただくとありがたい。ゴミステーションの出し方でマナーの悪い方がいる。地域の方でそういう方をみかけたら声をかけていただきたい。中学校統合問題について部会ごとに分かれて月に1回～2回恵南から集まって会議を行っている。環境部会では校舎、スクールバス、部活動、PTAについて話し合っている。先日は部活動について話し合いを行ったが、現在、部活動の選択肢が少ないのは寂しい。明智でも野球部がなく、野球をやるなら他の地域に行かなくてはならない状況である。未来の子ども達のために、より良い学校、部活の環境を整えたいと前向きな思いで考えているためご協力をお願いします。
- ききょうの会です。地域の古い物を調べることを行っている。昔、明智は製糸工場が盛んであった。明智発電所ができたことより製糸工場が発展した。資料に出した明智地域自治区運営協議会への提言で、過疎問題について今年の5月に市長と懇談会をした。世界の豊田市と隣同士の串原の道が何十年かかっても結ばれないのはなぜか、30年何も変わってない。中学校統合問題でも出ている、串原からあの道を使って通うのに整備されていないのはどういうことかなど話をした。中学校統合問題に賛成も反対もしていないが、地域の人が置き去りになるのは良くない。明知鉄道の食堂列車で多くの人が明智に来るため、30分で回れる場所を地図にした。英語版も作ったため参考にしてほしい。
- 自治連合会です。向町自治会の実情を話す。戸数は60戸、町内人数が136名で中学生が2人、小学生が4人で子どもが激減している。高齢者の方については、自治連合会で敬老の日にお祝いを配っている。80歳以上が40名いる。少子高齢化の自治会になっている。コロナが明けて行事も進めていきたいなど思っている。今年は防災訓練やお祭りの開催もできたが、町内の交流が少なくなっているなど感じている。また、集会所でサロンを毎月開催している。7～8人の方が中心になって皆に参加してもらうように働きかけ、迎えに行ったり、講師を招いて認知症予防のゲームをやったりしながら楽しんでもらっている。ただ、残念なことに、町内の壮健クラブが今年限りで解散する。
- 大正村です。12月下旬頃から大正ロマン館のクロスの張替え作業を行う。観光客が少ない時期の12/25～2/24日まで休館する。来年、大正村が立村40周年を迎える。これからの大正村の活動について検討している状況である。現在、出来る限り駅に行き、30分で見られる大正村マップの配布をして、たくさんの方に大正村の良い所を見て頂けるように働きかけている。
- 安心部会です。安心部会の委員には民生児童委員もいるため情報を共有している。民生委員は町内の複数の方を担当しているので、なかなか目が行き届かない状況である。各町内に福祉委員がおり、気が付いた事を担当の方と密接に関り話し合っている。引き続き自治会への加入を促進していただきたい。福祉委員でなくても気が付いた事は民生委員でも、振興事務所でもいいので話をかけていただきたい。認知症の方にQRコードシールを貼っていただくことで、その方の情報をスマホで読み取れ情報共有が出来るシステムがある。できれば、無償でシールが作れるといいなと働きかけをしている。一人も取りこぼさずに見ていくには、自治会への加入を勧めていただく事と、このような活動をしている事を知ってもらうことだと思う。

- ・自治連合会です。次回の自治会長会議にて、委員から話のあった、ごみのマナーについて話をする。今年一年、光秀祭りからラリーまで色々あった。自治連合会としては今後も協力していきたい。日本大正村クロスカントリーについて、現在参加者の募集をしているが、前回に比べて参加者が少ない。今月まで募集しているため声掛けをお願いしたい。11月にSLを明知線で走らせようという計画に対する会議に出席した。大井川鉄道にSLを点検する工場ができた。これにより、ある程度めどが立ってきた。これから話が進んでいくと思うが、皆さまにも協力していただきたい。ソフトバンクと大井川鉄道がアドバイザーに入った。
- ・異次元の少子化が進んでいる。中学校統合問題については色々な意見があるが前へ進めていきたい。子ども達がより良い環境でのびのびと勉強できる体制を作っていきたいので、前向きな話し合いをしていただくほかならないと思うためよろしくをお願いしたい。

5. その他

【事務局】

- ・まちづくり活動補助金（単独事業）の集計結果を報告する。
 - 1番 空き家を活用した明智みらい事業（明智みらい会議）
 - 2番 イルミネーション事業及び子ども遊び場整備と川遊び体験事業（まいまいくらぶ）
 - 3番 下ヶ淵環境保全事業（下ヶ淵イルミエール）
 - 4番 地域力でつなぐ！地域の絆結びと都市交流事業（吉田地域活性化委員会）
- ・まちづくり活動補助金については、年明けに審査会があるため所長が出席する。結果については改めて報告する。
- ・次回運営協議会を1月下旬から2月中旬頃に開催する予定。議題は、明智町の公共施設統廃合である。市町村合併後、行財政改革により多くの施設を統廃合や地元移管等してきたが、明智町での大きな施設として、明智かえでホール、明智文化センター、明智コミセンが残っている。この3施設の統廃合について議題とする。会議には行財政改革主管課である企画課も出席する。

【オブザーバー伊藤市議より】

- ・本日の協議会の中で、空き家、若い方の住宅、中学校統合など多くの意見が出た。根本は少子高齢化、人口減少によるものである。この問題は明智だけではなく全国的な問題でもあり、常に解決方法について考えているが、これだと言った解決策が見つからないため頭を悩ませている。ただし、こうした課題に向かって何でもやってみることが大切であり、今年度のまちづくり活動補助金を活用した事業の中では、イルミネーション、空き家ツアー、下ヶ淵のイベントなど新しい取り組みが多くある。こうした取り組みを行っていく中で、解決の糸口が見えてくるのではないかと思う。私の中で一つ大事であると思っていることがある。さまざまな取り組みにより、マッチングすることによる、良い意味での急激な変化が今の時代現れないかと期待している。次年度も多くの事業展開があるためよろしくをお願いしたい。また、各部会の活動についても感謝申し上げる。

【オブザーバー平林市議より】

- ・伊藤議員同様に少子高齢化、人口減少については大きな課題であると思っている。地域計画に掲げている、「最後のチャンス」について、皆で考え動いていく必要がある。その中で、明智みらい会議が実施した、明智発見の旅・空き家ツアーについてはすごい取り組みである。この会議の中では、皆で考え動いていけるような提言も必要であり、町全体が一つになり盛り上げていくことが大事である。まちづくりのボランティアについては、地域のボランティアが少なくなる中、中学生のボランティアの参加が多くあり、非常にありがたいことである。参加してよかったと思えるような取り組みを進めていけば、まちづくりも一歩前へ進むと思う。また、先ほど振興事務所長が言われた、公共施設の統廃合についても大きな課題であり、この町をいかに持続可能で住みやすい町にしていくかも大事なことであるため、皆で真剣に話し合いを行い、一緒に考えていきたいと思っているためよろしくをお願いしたい。

問い合わせ先：明智地域自治区運営協議会事務局（明智振興事務所内）

☎0573-54-2111

まいまいあけち
maimai aketchi

